



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2024～2025 年度 高山中央 RC 会長テーマ

美しい調和 「beautiful harmony」



◆会長 堀口 裕之 ◆幹事 高橋 厚生 ◆会報委員長 中屋 出 ◆会報担当 中屋 出

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1387 回	53 名	53 名	42 名	——	79.25%
前々回 1385 回	53 名	53 名	36 名	3 名	74.07%

～オープン例会～

- 点 鐘 会長 堀口 裕之
- ロータリーソング
- ビジター・ゲストの紹介
それこそロータリー
オブザーバー参加者 19 名
- 会長の時間 会長 堀口 裕之

本日は高山中央未来委員会による担当例会です岩本委員長どうぞよろしくお願いいたします。

また本日オープン例会となっておりますので会員以外のビジターを 20 名ほどお招きしておりますのでロータリークラブについて少しお話をさせていただきます。

ロータリークラブとは国際的な社会奉仕団体で、20 世紀初頭の 1905 年 2 月 23 日に青年弁護士ポール・ハリスと友人 3 人が互いに信頼できる公正な取引を念頭にロータリーの語源となった会合(例会)を持ち回りで開催することを約束にシカゴロータリクラブを立ち上げました。以来、200 以上の国と地域に広がりクラブ数 3 万 6 千以上、会員数 110 万人以上に達しております。

さて、いきなりですが道路標識のクイズです。下の



標識は円形(環状)の交差点の右回り通行を示す道路標識ですが、片方は円形交差点で片方は環状交差点です。さて、どっちがどっちでしょうか? おそらく、皆さんは円形交差点とか環状交差点と言われてもピンとこないと思いますが、「ロータリー」と言えば駅前広場のロータリーなどを連想される方も多いことでしょう。実は「ロータリー」の道路交通法上の正式名称が「円形交差点」なのです。一方、「環状交差点」も道路交通法での正式名称なのですが、こちらは一般的には「ラウンドアバウト」と呼ばれています。それでは、この「円形」と「環状」と何が違うのか? 実は形は同じなのに交通ルールが違うという紛らわしい交差点なのです。

ロータリーとラウンドアバウトとの大きな違いは、ロータリーは交差点への進入車両が優先、一方、ラウンドアバウト(環状交差点)は交差点内の車両が優先という点です。日本では道路交通法で左方が優先とされているので円形交差点では進入車両が優先となりますが、ラウンドアバウトについては道路交通法に「環状交差点」という交差点内の車両が優先通行という特例を設けた新たな交差点の規定が加えられました。

これによりラウンドアバウトは、理想的な交差点として設置スペースに難点があるものの少しずつ日本でも増えつつあります。

さて、このお話をロータリークラブに当てはめるならば新入会員を優先するのですか? 現会員を優遇するのですか? といった議論になるかと思えます。会長の私としてはもちろん、どちらも大切にして美しい調和のとれた高山中央ロータリークラブにしていきたいと思えます。



● 幹事報告

幹事 高橋 厚生

<高山市民憲推進協議会より>

- ・被表彰候補者推薦について

<高山市教育委員会より>

- ・キャリア教育「出前講座」
担当者会議の開始について

日時：3月11日（火）14：00～15：00

会場：高山市役所 2 階会議室



● 高山未来中央委員会

委員長 岩本 正樹

皆さんこんにちは、高山中央未来委員長の岩本です。先ずは本日のオープン例会に参加して頂きました皆さん、ようこそお出で下さいました。先程も会長からお話でしたが、今日は高山中央ロータリークラブの例会の雰囲気を感じ取って頂けたら幸いです。どうぞごゆっくり最後までお付き合い下さいますようよろしくお願いいたします。



高山中央未来委員会の本題に入ります前に、皆様の前に折角立たせて頂きましたので来年度のお話を少しさせて頂きます。都竹次期会長の年度は行事が盛り沢山の年であります。通常行事は元より、35周年記念行事だけでも3行事予定されており、友好クラブであります平塚湘南ロータリークラブとの交流会もどんな形であれ実施しなければならない年です。又、ゴルフで言いますと5クラブゴルフの当番の年でもあります。その様な中、私が拝命させて頂きましたガバナー補佐の関連行事といたしまして、インターシティミーティングとガバナー杯チャリティゴルフ大会の予選がございます。はやくも半年後に迫っておりますので皆様方にその開催日をお伝えさせて頂きます。先ず濃飛グループインターシティミーティング（IM）は10月26日の日曜日、それとガバナー杯チャリティゴルフ大会予選会は、10月13日、祝日の日曜日に開催したいと思います。IMの実行委員長には下田さんをお願いしておりご苦労をお掛けしますが、6年に1度の大きい行事でございます。会員の皆様方のお力添えが不可欠であり、会員一人ひとりに役が割り振られますので、10月26日を予定表に書き込んで頂いて、是非この日は全員出席くらいの勢いで濃飛グループの皆さんをおもてなししたいと思いますのでご協力の程宜しく願い申し上げます。また、ガバナー杯チャリティゴルフ大会予選につきましては、10月の3連休最終日の

月曜日に計画しております。実行委員長を今井さんをお願いしております。今井さんには5クラブゴルフのホストもごございますので大変ご苦労をお掛けしますが宜しくお願い致します。このチャリティゴルフ大会の予選には毎年40人前後の参加者がごございますので、準備や設営が大変でございます。ゴルフをされる方は元より、されない方にもお手伝いをお願いすることになると思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。以上、濃飛グループガバナー補佐担当クラブとして来年度、会員の皆様方にご苦労をお掛けしますのはこの二つの行事でございますので、是非ともご協力の程宜しくお願い申し上げます。

さて前段が長くなってしまいましたが、今日の高山中央未来委員会の例会では、比較的若い2名の方にスピーチをお願いして有ります。私の方から短期中期的、あまり遠い未来の事でなくて、5年10年先に高山中央クラブをどんなクラブにしたいかをテーマに、その頃にはこのクラブのリーダーになってみえるでありましょう、長瀬さんと小出さんにスピーチを頂きます。

その前に私の方から、高山中央未来委員会委員長として今日オープン例会に参加して下さいました皆さんに向けてお話をさせて頂きたいと思えます。ロータリークラブというのは基本、奉仕団体であります。教育、環境、疫病対策などをテーマに世界から地域社会に至るまで幅広く奉仕活動を行っております。結構真面目に奉仕活動しております。しかし、ロータリークラブはもう一つ会員同士の親睦が大事なテーマになっております。我が高山中央ロータリークラブは昔からこの親睦をもの凄く大事にして参りました。会社の経営者という共通の立場の輪の中で、酒にゴルフ等々、いろんな趣味を通じて交流を深め合いながら年を重ねていくのも悪くはないものです。このクラブは個性豊かで協調性の有る楽しい若い会員が増えてまいりました。高山にはライオンズも含めて5つのクラブがありますが、高山中央ロータリークラブの未来を考える委員会の長として言わせて頂ければ、この先も親睦に重きを置いて年齢差によるギャップの無い楽しいクラブ作りを若い会員が先頭に立って運営していけば、高山のクラブの中でも屈指のより充実した奉仕団体を作っていけるのではないかと確信をしております。ですので、今日参加して下さいました皆さん、どこかのクラブに入会される検討をされているのでありましたら、是非高山中央ロータリークラブへの入会をお考えください。一緒に楽しいクラブを作っていこうではありませんか。会員一同心からお待ちしております。それでは私からは以上といたしまして長瀬さんからスピーチをお願い致します。

● 会員増強委員会 委員長 下田 徳彦 オブザーバー参加者 (19 名) の紹介

● 「高山中央 RC のビジョンについて」

長瀬 栄二郎

皆さんこんにちは。

前年度、幹事を務めさせていただきました長瀬です。

本日は「高山中央ロータリーのビジョンについて」というお題にて、考えを述べよということで、お話しさせていただきましたこととなりました。どうぞよろしくお願ひ致します。

そもそも、私がロータリーに入れていただいたのは平成 18 年で 32 歳のときでした。今年 51 歳ですので、かれこれ 19 年も経つことにいまさら驚いています。

入会のきっかけは、友人の結婚式にハワイへ出かけたときときでした。

現地で、旭建設の道下さんが偶然同席され、ハワイに滞在しているあいだにロータリーへと、声を掛けていただきました。

当時、私のロータリーへのイメージは、職業人の集まる世界的な組織で、各地域の名士でなければ入れない集まりというイメージでした。ロータリーのメンバーであるということは世界的な信頼の基準であるというふうに理解していましたので、素直に光栄なことだと思いました。

反面、お歴々が多くて、お付き合いが大変というイメージもありましたが、いざ入会してみると高山中央クラブにはそんな面倒な心配は皆無で、とても暖かく迎え入れていただいた印象しかありません。

そして、そもそもロータリークラブとは何なのか、何をする団体・何を目的とした組織なのかということとは良くわからないまま入会しました。

ロータリーは直接的なボランティア活動をするということもありますが、それが主たる目的の組織ではありません。入会して例会に参加しているうちに、徐々にその存在意義を理解していきました。

最初に理解したことは、ロータリークラブの主たる存在意義は「職業奉仕」であるということ。

これは、自らの職業を通して社会に奉仕する。つまり、自らの職業に精一杯取り組むことでそれ自体が社会貢献・社会への奉仕になるということです。ロータリーは、いまから 120 年前に弁護士のパール・ハリスがシカゴの町で設立し、さまざまな分野の職業人が集まって知恵を寄せ合い、生涯にわたる友情を培うことのできる場をつくるのが目的であったそうです。

世相を考えれば、職業倫理の崩壊したシカゴの町



で誕生したロータリークラブは、まっとうにビジネスに取り組もうとする有志の集う会で、互いを尊重して成長していくための組織がロータリークラブの原点であったのだと認識しています。

それゆえに、「職業奉仕」がロータリーのビジョンであり、そのための仲間であるメンバーとの「親睦」がロータリークラブの存在意義なのだと私は理解しています。

自分の仕事を一生懸命やって社会貢献する。

自らの職業に互いに高い職業理念をもち、日々のつらいことも理解し合える仲間と親睦を保つ。そして、同じ理念を共有するメンバーと、安心して仕事を引き受け合うことを前提にしていたものと考えます。

したがって、「職業奉仕」と「親睦」をロータリーの不変のビジョンと考えれば、個人的には、このビジョンをしっかり保つことがまさにロータリーのビジョンなのかと思うのですが、社会の変化に応じて、中長期的な目線でビジョンを維持するためのメニューを考えるとしたならば、どのようなことが考えられるのか。

これからのロータリークラブの在り方として求められることは、やはりロータリー活動とその存在意義を社会に広く知っていただくこと。

その方法として、人材しか資源のない日本において、次世代を担う子供や若者たちへ向けて、働くことの意義や理念を啓蒙していくことが必要かと考えます。日本国内のロータリーメンバーには素晴らしい方々が沢山おられるので、高山へお越しいただいて一般参加も含めて卓話をお願いするとか、ワークショップを開催するなど。

また、ロータリーには世界各地に安心した仲間とのつながりを提供できる環境が整っています。グローバルな世界にあって、米山奨学のみならず、若者の国際交流を支援し、広い世界とのつながりを提供する。

中長期的に、こうした活動をロータリー活動として追加・充実していくことで、ロータリークラブの存在意義を高め、また未来のロータリアンを育てていくことになるのではないかと考えます。

自分の子供や会社の後進を育成するだけでも大変な労力ですが、社会全体へ目を向けた取り組みを進めることが我々には求められているのではないのでしょうか？

以上、まとまりのないお話しとなってしまいましたが、個人的に考える高山中央ロータリークラブのビジョンについて、お話しさせていただきました。

ありがとうございました。

あまり遠くない未来(短中期的 5 年 10 年先)に高山中央ロータリークラブがどんなクラブになっていたら良いか。

小出 貴博

今年に入ってやけに未来委員会の委員長の岩本さんが優しいなと、思っていたらここでのスピーチを任された小出です。

私は当ロータリークラブに入り、はや 8 年が過ぎました。

5 年 10 年なんてあっという間に過ぎてしまいそうですが、個人的な見解のみでどのようなクラブになればいいのかを話したいとおもいます。

その前に、高山中央ロータリークラブの良いところを・・

当クラブは、他の団体に比べてとても気さくで懐の深い大人の集まりであると思います。

このあたりで一番若い団体であり、比較的硬い考え方に縛られたくない方が、集まっているように思います。そして、若い気持ちを持ち合わせている方が多くいらっしゃいます。

ですので、宴会では大変盛り上がります。みんなそれぞれ楽しそうにしています。もちろんコンパニオンさんもたくさん来ていただきます。

また、ロータリークラブとしてやる所はしっかりとしており、RI 会長賞ほか RI 表彰を目指して努力しています。

やるときはしっかりやり、遊ぶときはしっかり遊ぶのが高山中央ロータリークラブの良いところだと思います。

私にとっては、諸先輩方が、口が悪く・態度の大きいわたしを、こころよく受け入れて頂いていることはうれしく思っております。

そんな、高山中央ロータリークラブの良いところを、5 年後も 10 年後持ち続けていってほしいというのが、私の希望する 5 年後 10 年後の高山中央ロータリークラブです。

ではそこで、5 年後 10 年後も今の高山中央ロータリークラブを継続するには、どうすればいいのか?ということになります。

今回のお話をいただいて、少し調べました。今の高山中央ロータリークラブは、70 代 15 人、60 代 15 人、50 代 19 人 40 代 4 人 平均 62 才でした。周信夫さん・高殿なおしさんが 62 才です。

このままでは、10 年後は平均 72 才です。

35 年前の創立時、劔田さんや島さんは今 75 才ですので、40 才でチャーターメンバーでした。その当時、平均年齢はだいぶ若かったと思います。40 代が中心のクラブであったのでいまの高山中央ロータリークラブがあるように思います。



その当時の年齢とまではいきませんが、少しでも若い平均年齢にすることで、高山中央ロータリークラブの良いところを継続していけるのではないかと思います。

少子化や過疎化などによる人口減少は高山市でも起きていますが、会員増強をここでより進めていくことが今後の 5 年後 10 年後につながると思います。

以上で私からのスピーチとさせていただきます。

< ニコニコ BOX >

本日はオブザーバー参加の皆様、公私ともにお忙しい中オープン例会にご参加いただき誠にありがとうございます。皆様方にとって有意義な時間となります様お願い申し上げます。

役員理事一同

本日、オブザーバー参加して頂きました方々、お忙しい中、高山中央ロータリークラブオープン例会にご出席頂きありがとうございます。感謝を込めてニコニコへ。

下田 徳彦

本日発売の週刊現代の刊頭 8 ページ、カラー写真で、2 月 3 日の洲さき節分会の様子が載りました。全国デビューしましたのでニコニコへ。

三枝 祥一

日曜日、歯科医師会 HDF 会主催のゴルフに三重県の亀山タートルエースゴルフクラブに行ってきた。雲一つない快晴でしたが風が強かったです。ファーウェイのゴルフウォッチを使用しました。100 を切って優勝する事が出来たのでニコニコへ。

高木 純

今日は、我がクラブ会員と未来の会員でたくさんの参加者で賑やかでビックリです。楽しいクラブですよ。入会楽しみにしています。

平林 英一

皆さん、良かったら高山で一番楽しい高山中央 RC へ入会して下さい。

周 信夫

先週は欠席して申し訳ありませんでした。

村井 繁喜